安全データシート

t-ブチルパーオキシオクトエート

改訂日：2024-01-29　版番号：1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: t-ブチルパーオキシオクトエート
CB番号	: CB9850565
CAS	: 3006-82-4
同義語	: t-ブチルパーオキシオクトエート

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 有機過酸化物(重合触媒)
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	： Chemicalbook
住所	： 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	： 010-86108875

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

GHS改訂4版を使用

H25.9.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H25.7版)を使用

物理化学的危険性

有機過酸化物　タイプC

引火性液体　区分4

健康に対する有害性

環境に対する有害性

水生環境有害性 (長期間)　分類実施中

水生環境有害性 (急性)　分類実施中

GHSラベル要素

絵表示

GHS08	GHS02	GHS09

注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性液体 熱すると火災のおそれ

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。 衣類及び他の可燃物から遠ざけること。 他の容器に移し替えないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 日光から遮断すること。 ...℃以下の温度で保管すること。涼しいところに置くこと。 他の物質から離して保管すること。

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

---

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: t-ブチルパーオキシオクトエート
別名	: 2-エチルペルオキシヘキサン酸tert-ブチル(2-Ethylhexaneperoxoic acid tert-butyl ester)　2-エチルヘキサンペルオキシ酸1,1-ジメチルエチル(2-Ethylhexaneperoxoic acid 1,1-dimethylethyl)
濃度又は濃度範囲	: 情報なし
分子式 (分子量)	: C12H24O3(216.321)
CAS番号	: 3006-82-4
官報公示整理番号(化審法)	: (2)-687
官報公示整理番号(安衛法)	: 既存
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	: -

---

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

情報なし

医師に対する特別な注意事項

情報なし

---

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

加熱すると火災のおそれ。 摩擦、熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 消火後再び発火するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移動しない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

衣類、その他の可燃物から遠ざけること。

適切な保護手袋、保護面を着用すること。

環境に対する注意事項

環境に放出しないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収・中和:漏洩物の除去や廃棄処理は専門家の指示による。

封じ込め及び浄化方法・機材:危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策:すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

技術的対策:消防法の規定に従う。

局所排気・全体換気:『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

炎や高温のものから遠ざけること。

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

衣類、その他の可燃物から遠ざけること。

他の容器に移し替えないこと。

取扱後は眼をよく洗うこと。

接触回避

情報なし

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

技術的対策:消防法の規定に従う。

保管条件:換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

日光から遮断すること。

他の物質から離して保管すること。

安全な容器包装材料

情報なし

---

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産衛学会(2013年度版)

未設定

許容濃度

ACGIH(2013年版)

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

---

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状	液体
色	無色
臭い	情報なし
臭いのしきい(閾)値	情報なし
pH	情報なし
情報なし	
情報なし	
170℃(クルップ式):NITE(2013)	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
84℃(クリーブランド開放式):NITE(2013)	
情報なし	
<-30 ℃:NITE(2013)	

融点・凝固点

<-30 ℃:NITE(2013)

沸点、初留点及び沸騰範囲

情報なし

引火点

84℃(クリーブランド開放式):NITE(2013)

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

情報なし

燃焼性(固体、気体)

情報なし

燃焼又は爆発範囲

情報なし

蒸気圧

情報なし

蒸気密度

情報なし

比重(相対密度)

情報なし

溶解度

情報なし

n-オクタノール/水分配係数

情報なし

自然発火温度

170℃(クルップ式):NITE(2013)

分解温度

情報なし

粘度(粘性率)

情報なし

---

10. 安定性及び反応性

反応性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

化学的安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

情報なし

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

情報なし

---

11. 有害性情報

急性毒性

経口

マウスの経口LD50値として、> 10,000 mg/kg (PATTY (6th, 2012)) の報告に基づき、区分外とした。

経皮

データ不足のため分類できない。

吸入:ガス

GHSの定義における液体である。

吸入:蒸気

データ不足のため分類できない。

吸入:粉じん及びミスト

マウスへの4時間吸入LC50値として、42.2 mg/L (PATTY (6th, 2012)) の報告に基づき、区分外とした。なお、LC50が飽和蒸気圧濃度 (0.61 mg/L) より高いため、ミストとして mg/L を単位とする基準値を適用した。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。ただし、PATTY (6th, 2012) には、「刺激性なし」との記述があるが詳細について不明であるため、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データ不足のため分類できない。ただし、PATTY (6th, 2012) には、「刺激性なし」との記述があるが詳細について不明であるため、分類できないとした。

呼吸器感作性

呼吸器感作性:データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

皮膚感作性:データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。

発がん性

データ不足のため分類できない。

生殖毒性

データ不足のため分類できない。

---

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)

分類実施中

水生環境有害性(長期間)

分類実施中

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

3113

国連品名

ORGANIC PEROXIDE TYPE C, LIQUID, TEMPERATURE CONTROLLED

国連危険有害性クラス

5.2

海洋汚染物質

該当しない

MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

該当しない

国内規制

海上規制情報

船舶安全法の規制に従う。

航空規制情報

航空法の規制に従う。

陸上規制情報

消防法、道路法の規制に従う。

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 移送時にイエローカードの保持がある。

緊急時応急措置指針番号

148

---

15. 適用法令

労働安全衛生法

危険物・爆発性の物

消防法

第5類自己反応性物質、有機過酸化物

航空法

輸送禁止

船舶安全法

酸化性物質類・有機過酸化物

港則法

その他の危険物・酸化性物質類

道路法

車両の通行の制限

---

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA:国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp

【2】化学物質審査規制法(化審法)https://www.env.go.jp

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) https://www.chemicoco.env.go.jp

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)https://www.nite.go.jp/

【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple

【6】ChemIDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

免責事項:
本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。